

北本郷環境保全会〔登米市〕

地区概要

取組面積：70.9ha（田 63.2ha，畑 7.7ha）
資源量：水路 8.8km 農道 11.8km ため池 - 箇所

令和2年度交付金

農地維持支払交付金	2,050 千円
資源向上支払（共同活動）交付金	1,221 千円
資源向上支払（施設の長寿命化）交付金	- 千円

地域の概要

当地域（登米市南方町）は登米市の南西に位置し、国際的に重要な湿地を保護するラムサール条約に登録されている「蕪栗沼・周辺水田」に隣接する水田地帯です。

蕪栗沼に近いこともあり、当地域には多くの冬鳥が飛来しており、同地域の一部では冬期湛水「ふゆみずたんぼ」に取り組むなど、水田の多面的機能の発揮をねらった活動が行われている地域です。

取組みの概要

活動組織は北本郷行政区で設立し、行政区民を中心として農業者、非農業者を含めた子供会、老人会など年齢を問わず地域一体で積極的な保全活動を行っています。

また、地元の小中学校と連携し、清掃活動や生き物調査、野鳥観察を行うなど、環境及び生態系保全の重要性や、農業や農村が持つ多面的機能というはたらきを地域の子どもたちに認識してもらえる活動を行っています。

取組みによる効果

行政区民を中心として農業者、非農業者が一体となり活動を進めていることから、構成員の横の繋がりが増え、構成員の非農業者の割合が増加傾向にあり、行政区民の親睦がより一層深まりました。

今後の課題

当組織の周辺では、近年宅地化が進み外部からの転入者（非農業者）が増加している一方、農業者は高齢化などにより減少傾向にあります。今後、いかにして新規就農者や担い手の育成・確保を行っていくかが課題となっています。



水路の泥上げ



外来種（セイヨウアサガリ）駆除



農道の軽微な補修



地元の小学生との生き物調査



地元の小学生との生き物調査



地域住民との交流の様子